



**アンナ・バッキア**  
**スイス・ルガーノ意識研究所 創設者**

富士宣言の啓発的で純粋な精神が示しているように、地球の現在の歴史的状況は、人間の意識と洞察力の根本的な覚醒を求めている。

今日の人類の真の進化的転換は、私たち存在の重要な本質を根本的に認識し、自覚することなしには始まらない。

現在の論理的、因果的、機能的思考や人工知能の開発は、生命を細かく分析し、トレンドや社会モデル、社会の基準を作り出す傾向があり、物質的な豊かさを提供しているに過ぎない。しかし、それらは人間が本来持っている生命との共鳴の流れから大きく切り離されており、常に人類の鼓動の中に体现されてきた生命の自然の流れから重大な隔りがある。

数は知恵をもたらさない。そして量から質は生まれないのである。

私たちは生命の観察者でも、管理者でも、地図製作者でもなく、生命そのものなのだ。私たちの呼吸は、生命の呼吸にほかならない。今日、本当の平和の創造は、人間の深い感受性と、内面的な自覚の自然な結果として可能になるだろう。私たちが生命そのものであり、進化創造の命のシンフォニーを奏でる楽器であることの自覚である。

すべてが絡み合い、すべての相互関係が存在の全領域に影響を及ぼすこの複雑な実在において、あらゆる生き物、あらゆる人間の生命は、絶え間ない流れの中の現れにほかならない。

私たちは人類の進化の探究者ではなく、私たちの意識、存在、洞察、日々の態度、選択、関係のすべてが、生命の進化の流れそのものであり、それを共創する進化の本質なのである。

私たちは絶えず自らを創造する生命の輝きであり、呼吸、直観、靈感である。生命の本体はすべての答えがある領域、無限の可能性の場に在り、顕現するのを待っている。

このような生命の深い意味において、人間の意識の進化は、局所的で機能的、技術的な知識から、即時的で共感的、直観的、共鳴的な理解へとシフトすべき時に来ている。それは、新しい叡智、人間本来の創造性、ワンネスと繁栄への道を開くだろう。